

## 部門長退任のご挨拶

2014 年度（第 92 期）部門長 高田一（横浜国立大学）



第92期部門長を務めさせていただきました高田一です。副部門長の綿貫啓一先生，幹事の佐々木直栄先生，運営委員，総務委員の皆様を支えられながら，無事に役目を終えることができました。まずは皆様に厚くお礼申し上げます。

第 92 期は，定例の部門講演会だけでなく，隔年で開催している，部門主催の技術と経営，技術移転の国際会議 ICBTT2014 が 12 月にドイツのマクデブルクで開催され，また，日本技術史教育学会とブータン王立大学が主催し，当部門が協賛した国際会議 ICESTE2014 が 8 月にブータンの首都ティンブーで開催されました。私は部門長として，両国際会議に出席，発表し，ブータンでは技術者倫理に関する基調講演を行いました。

ブータンでは，鉄道も敷かれておらず，交通量の多い首都の交差点でも昼間，手旗信号で交通整理をしており，信号機はひとつもありません。そのような国での技術者倫理，リスクマネジメントの話は聴講者にどの程度伝わったか，定かではありませんが，今後は必要になるだろうと思いい，お話をしました。

一方，マクデブルクでは，各広場でクリスマスマーケットが開かれている時期であったため，クリスマスの祝日が二日あるドイツならではの雰囲気でありました。

部門講演会は，これまで続けられている「技術と社会の関連を巡って：過去から未来を訪ねる」のテーマで豊橋で開催されました。開催地の愛知大学には工学系の学生がおりませんので，前年度までのような開催校の学生による発表はありませんでしたが，日本技術士会中部支部によるオーガナイズドセッション設置のご協力もあり，発表数もあまり減ることもなく無事終了いたしました。

機械学会の主な業務でもあり，部門に委託されております機械遺産の認定も 8 件が新たに加わり，また，1997 年から実施しておりますイブニングセミナーも 2015 年 3 月で 182 回を数え，その他，技術者倫理セミナー，新☆エネルギーコンテスト，低温度差スターリングエンジン競技会・発表会など，市民に向けた行事も一部台風による日程変更はあったものの順調に開催できました。

当部門は、技術を社会に結び付ける橋渡しの活動を行っていますが、機械工学の研究、実験、実証による成果は、社会に還元されて初めて意義があるものであります。部門登録者はあまり多くありませんが、これからの発展が期待される分野です。

第93期は、綿貫啓一部門長（埼玉大学）と佐々木直常副部門長（日本大学）に引き継ぎました。運営委員、総務委員をはじめ各委員会の委員の皆様、よろしく願いいたします。表彰委員会の委員長として1年間は総務委員会に残りますので、部門のお役に立てればと思います。

また、適切なお支援、ご助言をいただきました事務担当の曾根原雅代様、現担当の秋山宗一郎様に厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、部門の益々の発展を願いつつ、部門長退任のご挨拶とさせて戴きます。ありがとうございました。

---

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

---

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.33

(C)著作権:2016 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門